



大人も子どもも、この日のために一生懸命に練習。誇らしく堂々と踊りました。



県の無形民俗文化財に指定されている尾下の獅子舞と峰の宿バンパ踊り。両文化財とも後継者不足が大きな問題となっており、とりわけ「峰の宿」のうのバンパ踊りは大字中の「峰の宿」地区だけの芸能であるため、踊り手不足から昭和58年以来今日まで休止の状態、同地区内外でその存続が心配されていたところでした。

今回、伝統芸能連絡協議会の呼びかけと大字中と矢津田の駐在員さんらの働きかけにより、峰の宿地区だけでなく草部北部地区（大字中・大字矢津田）全体による復興の盛り上がりを見せ、子どもたちを含むたくさんの方々の理解と協力が得られて、今回の復活公演となりました。

このバンパ踊りには、「段七おどり」「あや筒おどり」「たちきり踊り」「やおよ踊り」「さえもん踊り」など14種もの踊りがあります。このうち13種は完全に保存されていますが、「弓引き踊り」の口説き（歌詞と曲）の曲部分が不明確なところがあり、代表の二子石壯さんはみんなの力を合わせて早急に復元保存し、永く存続させたいと話されていました。（本文は次のページ）



8月1日（木）奥阿蘇キャンプ場

士野精二個展

絵画芸術を楽しむ
温泉館で無料公開



現在スペイン・セビリアで活躍中の士野先生が、帰国された忙しい合間をぬって、高森温泉館で絵画の無料展示を行っていただきました。先生は昭和15年生まれで熊大教育学部を卒業後学校教育に携わり、平成5年大津高校を最後に退職。これまで素晴らしい絵をたくさん展示発表されており、温泉館ではヒマワリの明るい色調に、訪れた人たちは熱心に見入っていました。



■題名 風の日



小国出身の常田富士夫さん。多忙な中でも、3〜4カ月に一度は帰られるとのこと。「阿蘇に帰ると何かほっとします。やっぱり阿蘇は良かとこて思いますよ」と優しい表情で語られる。作品の中の武夫の姿も常田さんのお人柄と同じく、全編にわたって優しさが溢れ、みんなから頼られ慕われるという設定。
若い頃から農業に苦勞してきた武夫だが、農業は永遠のもの。自然の恵みに感謝し、自然と上手に付き合う農業の大切さをうったえるという、この作品には無くてはならないもの。



■撮影シーンのあらまし
子どもたちからもらった虫が入った虫かごを持ち、バスではなく旧道を歩いて駅まで行きたいという淑子を途中まで送る武夫夫妻。吉見神社の石段上で淑子の安全を祈るかのように手を合わせトンネルへ向かう二人。
牧野を通り、トンネルに入る前にシノメ竹を切って先に手ぬぐいを付け、「目印になるけん」と淑子に手渡す武夫の優しさが溢れ出る。
峠の上で別れる二人。大きく手を振り心配そうに見送る武夫夫妻。少し寂しくなった淑子。武夫がもつた竹の先の白い手ぬぐいを握り、何度も振り返りながら、淑子は草むらの向こうに消えてゆく。

「宮本武夫」(常田富士夫宅に下宿している淑子(鳥飼三帆)が、夏休みに熊本市内へ帰省するシーンの撮影が、八月二十四日(土)吉見神社と旧道高森峠トンネル周辺で行われました。

吉見神社と旧道のトンネルで淑子の帰省シーンを撮影



も 舞うた

たかもりの伝統芸能と



上色見熊野座神社 神楽保存会



草部吉見神社 神楽保存会



尾下菅原神社



獅子舞保存会



目(カメラ)にも止まらぬ早わざ
上色見熊野座神社神楽で姿(しとき)が
時かれ、観客殺到。(誰が取るかな?)



上色見熊野座神社 御輿唄



写真提供 甲斐耕太郎さん
(大字津留)

今回出演された団体以外にも
本町にはたくさん伝統芸能や
伝承行事があります。
野尻子ども会(瀬井美智夫会
長)の子どもたちも毎年盆踊り
を行っています。
これは子どもたちの健全育成
を目的に活動している同会の行
事の一つで、八月十四日の予定
が台風十二号の影響で翌十五日
に延期されたものの、子どもた
ち十名は今年も津留地区や野尻
地区内の初盆を迎えられたご家
庭を回り、盆踊りをしてご供養
を行い、ご遺族の皆さんにも喜
ばれました。

伝統芸能・伝承行事
豊富な高森町

野尻子ども会も初盆踊り

伝承行事を公開

うと 唄った



高森 風鎮太鼓保存会



風鎮太鼓女性メンバーと草部中合同演奏



上色見老人会
地つき唄とトウキビ曳き唄



高森阿蘇神社 巫女舞と神楽



草部 社倉盆踊り保存会



高森町伝統伝承芸能公開



八月一日木曜日、草部の奥阿
蘇キャンプ場で「伝統・伝承芸
能公開」が行われました。
これは、町内各地に伝えられ
てきた伝統芸能や伝承行事を掘
り起こし広く知らしめながら、
永遠に伝え、受け継ぐ重要性を
みんなで認識しようというもの
で、高森町伝統芸能連絡協議会
(本田研一会長)が主催し、同
協議会と奥阿蘇物産館等管理運
営組合(本田登組合長が実行
委員会(本田登組合長が兼務)
を組織して開催したものです。
この日の出演者は十一団体、
約百五十名。観客も町内はもち
ろん、県内各地と遠くは福岡な
どから約七百名という大賑わい。
出演者も和太鼓や盆踊り、神
楽、巫女舞、獅子舞などに声
をからし、汗を流して大熱演。会
場は素晴らしい伝統芸能の数々
に酔いしれていました。
この催しは舞台設営、会場設
営、交通整理、場内整理、音響、
記録など多方面にわたり、準備
委員、運営委員などの実行委員
の皆さんが協力し合ってのまさ
しく「手作り」の自主イベント。
また、草部公民館活動も夜店を
出店するなど、盛り上がりに一
役かたて皆さんから喜ばれてい
ました。



連合婦人会だより

高森校区婦人会・横町支部

子ども会 育成事業を開催

社会みんなの力で 子どもの健やかな成長を願う
横町児童公園・湧水トンネルを美化清掃



「優しい人であふれる 人権尊重のまちづくり」を本町では推進しています。これには、まちの次代を担う子どもたちの心身両面の健全なる成長が欠かせないことであり、児童福祉面と教育委員会や本誌でも家庭教育の重要性をうたえ、それぞれに具体的な取り組みをしています。

町連合婦人会（本田美智子会長）においても、「我が子と同じ気持ちで、まちの子どもの育成を」を合い言葉に、積極的な「人づくり・地域づくり」に取り組んでいます。

8月3日の土曜日、同会の高森校区婦人会、横町支部（相馬和美支部長）で子ども会育成事業が行われました。これは、子ども会活動と力を合わせる中から、社会全体で青少年の健全育成を図る重要性を認識しようというもので、町青少年の健全なる育成のためには大切なことです。

この日は、横町の子どもたちと共に児童公園や湧水トンネル周辺の清掃ボランティアをした後、最後は湧水トンネルで「そうめん流し」をして交流と親睦を深めました。

（次号では上町支部の活動を掲載予定）

長い目で高森を見つめる…「百年の森づくり」をめざして

平成11年からの新しい町振興計画に活用する
「高原森林文化村・事業化可能性調査報告書」を作成

文化・教育・交流をすすめるために

私たちのまち、高森を今後どのように発展させていくかという「高森の将来像」を明確にし、そのための具体策を設定しようという町基本構想についての「高原森林文化村 事業化可能性調査報告書」がまとめられ、八月二十六日、町議会への報告会が行われました。

これは、「森林文化村事業化可能性調査懇談会」（地域住民・役員職員20名と「庁内検討会」（課長など13名）を組織し、各地区住民や各種団体を交えた懇談会と無作為抽出による「住民の意向調査」（アンケート）を実施して、産業面、福祉面、生活面など多方面から多くの意見を聞いてまとめられたものです。報告書は現在の町づくりの「文化・教育・交流」の基本構想を引き継ぐと共に、「まちづくりの基本コンセプト」（概念）では豊かな自然を活用した内容のものになっています。

これにより、高森、色見、草部、野尻の特色を生かし、その地域性に合った「各地区の目指すべき方向性」も具体的に提案され、この四つの「面と点」を融合させた町全体の発展を目指すというものです。

町では、この日の議会報告の際に出た意見も検討しながら最終報告書まとめ、これによりさつそく今年十月から来年三月にかけて、野尻小学校跡地周辺を対象とした基本計画書を策定して必要な事業に着手します。

なお、この報告書の詳しい内容は、来月号から詳しく紹介します。



森林文化村事業化可能性調査懇談会



野尻地区懇談会 3月18日



議会への報告会 8月26日

これから高森が進む道は？

シリーズ高森良かとこ

だから合宿



熊本県立大学 箏曲部
今年も総踊りには25団体1,000人という、たくさんの方に参加いただきました。小雨はちつく中、皆さん大変お疲れでした。

これまで高森では高校、大学など、たくさんの方々がスポーツや文化クラブの合宿に高森が利用されており、高森を選ばれた理由に熊本市内から近いこと、景観と自然豊かで涼しいことなどがあげられているようです。

今年も吹奏楽部やテニスクラブ、バスケットボール、大学研修などが町内の宿泊施設やスポーツ施設を利用して合宿。まさに、寝食を通じて「たかもり」の良さを知っていただくことにもなることから、観光振興面はもちろんだ、多方面での町の発展につながるものと期待されます。

熊本県立大学箏曲部の皆さん（長尾かおり部長、部員28名）も八月十七日から二十日まで高森での夏期合宿を行いました。同部の高森での合宿は今年で四年目。第一に涼しいことが高森を選ばれた理由のようで、「夜は寒いくらいですね」との感想が聞かれ、熊本市内の猛暑をしばし忘れて、熱心な練習が続けられていました。

また同部には部長の長尾さん（三年生）と緒方玲奈さん（二年生）の高森出身が在部。長尾さんは「入学する前から高森で合宿が行われており、入部して知ってビックリ。高森が選ばれていたことを誇りに思いました。授業時間の違いもあり、なかなか全員が揃えませんが個人練習で補って、みんなの和と団結で演奏技術面や人間的にも高まっていきたいですね。」と話していました。

熊本県立大学 箏曲部 高森で夏期合宿 梅香苑で演奏 風鎮祭総踊りにも参加



高森で合宿した県立大学箏曲部の皆さん。
（前列左が長尾さん。その後ろが緒方さん）

広報インタビュー

小雨の中、総踊り参加ありがとうございました。うございました。

□「のつて」頑張りました。良い思い出になりました。エー！千人も参加されたんですか？すごいですね！

高森の感想をどうぞ

□田楽おいしい！芋も豆腐もおいしかったです。たれの味噌、いい味ですね。「たかな」ご飯大好きです。

（ありがとございます。あのー…食べ物以外の感想も。）

□温泉館に行きました。人がちよつと多過ぎるかな？

（すみません。毎日お湯は入れ替えていますのでご安心下さい。平日はゆっくりできます。ぜひまた、来てくださーい。）

熊本県立大学 箏曲部 第25回定期演奏会

▼とき 十一月三十日 午後六時から
▼ところ 熊本市産業文化会館 大ホール

「高森良かとこ」シリーズ作りました。高森が良いところだから、「住みました」「帰ってきました」「お嫁にきました」などの「Uターン・リターン」など、まちの良さを再認識し、また全ての分野でこれからのまちづくりの参考となる企画にしたいと思っています。

夏はやっぱり

祭りの季節

ふれあいと
楽しみの場
夏まつり

子々孫々に永く伝える
重要性を認識

風鎮祭

今年も八月十七日と十八日、台風シーズンの二百十日から二百二十日を前に風の害から農作物を守り、豊作を祈願する風鎮祭が盛大に開催されました。この祭りは別名「山引き」とも呼ばれる祭りで、宝暦二年（一七五二年）始まったと言われています。



今年の造り物コンクール特賞「招福 恵比寿」(下町2組)

風鎮祭のメインは造り物(山)。祭の造り物は他の町にもありますが、この祭では材料を加工、着色してはならず、解体したときに元のとおりに使えることが条件です。今年は19基の力作が町内各所に展示されました。



造り物(山)を引く。これが「山引き」の由来。風鎮祭の作り物(山)を引く山引きが18日午後4時から行われました。「人手不足」で手押しから止むを得ず自動車での移動が多い中、今年も高森高校生たちは手押しで山引きに参加しました。



高森幼稚園も手作り御輿で風鎮祭に参加。



にわかコンクールでは、上町向上会が8連覇を飾りました。



今年の風鎮祭の「牽引車」5町の向上会長。節刀渡して横町から下町に年番を交代しました。



祭りに欠かせないお囃子。年番の横町向上会のお囃子の皆さん。



後踊りのヤシクノールズの演奏に町英語講師(ALT)のエミーさんもキーボードで参加。



宮崎市の「橋太鼓」演奏者はわずか8人ながら、パチさばきの勇壮さと迫力に圧倒される。



昨年も来ていただいた「八特太鼓」リズムとパチさばきの正確さなど、クラブ活動とは言えプロの腕前。

風鎮祭 和太鼓フェスティバル

18日、午後1時から和太鼓フェスティバルと銘打ち、本町の風鎮太鼓(2ページで紹介。7月号で紹介した女性メンバーも男性メンバーに負けずに大熱演)はもちろん、宮崎市の「橋太鼓」と陸上自衛隊の自主クラブ「八特太鼓」に出演いただき和太鼓の競演がありました。会場の中央四つ角に集まった聴衆の皆さんは、「橋太鼓」の直径2m重さ1.5tの大太鼓など、3団体の太鼓設営と迫力ある素晴らしい演奏に圧倒され、曲が終わるたびにため息がもれていました。

高森阿蘇神社夏祭り 吉見神社夏祭り・風鎮祭

夏はやっぱり「祭りの季節」。本町でも夏祭りが各地でたくさん開催されました。これもまちの素晴らしい伝統と伝承を永く伝え、また交流と娯楽としての楽しみの役割も担っているまちの大切な文化です。まちの各地には年間を通じ神社などの祭りがたくさん開催されます。その一つひとつに「かたち」と「いわれ」に違いがあることも素晴らしいことですし、それを残していくことは大変なことです。各祭りでは一生懸命の取り組みが今年もみられました。各祭りを主催、盛り上げられた皆さん。本当にご苦労様でした。



下り宮で有名な同神社は神武天皇の第一皇子子八井命が祀られています。午後から大小二基の御輿と子ども御輿が階段を登って「浜床」まで行列。子ども御輿もワッショイワッショイと元気に階段を上りました。浜床では同神社の神楽保存会による神楽の奉納もあり賑わいました。

草部吉見神社夏祭り 7/31



鍵盤龍命が九州を平定し、阿蘇の地を風雪の害から防ごうと穀粟の豊穡を祈願したのが始まりと言われている祭り。今年も「御唄」に合わせて、御輿や御神馬が練り歩き、御輿に家内安全や健康を祈願するたくさんの人が御輿をくぐり、勇壮な「飾り馬飛ばせ」もありました。

高森阿蘇神社夏祭り 7/30

児玉民江さん 人権擁護委員に再任

法務大臣から委嘱状交付

昭和二十四年六月一日、人権擁護委員制度が発足して、国民の基本的人権を擁護し見守る、いわば「民間による人権の番人」の機関が誕生しました。

本町の人権擁護委員さんは四名。その一人、大字高森の児玉民江さんが再任され、八月一日付けで法務大臣から委嘱状が交付されました。

人権は人間が平和に生きていくうえで、最も大切な権利です。人々がお互いに人権を守ることに伴って明るい社会をつくりたいものです。



熊本地方事務局、後藤阿蘇支局長と今村町長から委嘱状が伝達



人権尊重の優しい人づくり・まちづくり

家庭教育

子どもたちの
すばらしい
心と身体を
育むために

Family
Moral
Education

青少年 育成キャンプ



**子どもたちの優しい心と
自主性を育むために**

子どもはまさしく「まことの宝」これからの時代は健やかな心による認め合い、助け合いが欠かせません。本町では、まちの次代を担う子どもたちを心身共に健やかに育てるため、青少年育成町民会議を組織しています。

これはまちのあらゆる分野と私たち大人一人ひとりが自分の子どもだけでなく、全ての子どもへの育成にも関わることの責任を認識し、そのための具体的な行動を行おうというものです。

この活動の一つとして、七月二十七日と二十八日、旧河原小学校グラウンドで青少年育成キャンプを開催し、町内の各小学校から七十名が参加しました。

テント設営から調理の仕方や火のおこし方などのポイントをボランティアで参加した役場職員や高森高校生から習って、班毎にカレーライスとサラダ作り挑戦。自主的に考え動く精神で、寸劇の計画や清掃活動などに頑張る、他校の子どもたちともすぐに打ち合わせ合っただけで楽しい二日間を過ごしました。

自主性と積極性、助け合いの精神などを学んだ子どもたちの生活や学業に生かして欲しいものです。

子育てサークル

風まるキッズ 活動中

子育ての悩み話し合ひましょう

毎週火曜日10時からお昼まで
高森町中央公民館(昭和)

時間・場所が変更になることがあります。
おたずねは保健衛生係までどうぞ。



七月二日 セタづくり

「みんな元気で大きく、なあれ」
「優しい人になりますように」
「何でも食べて元気な子」…短冊に書かれた、願いごとが天の川に届きました。

八月二十日 紙芝居

「あひるのびいびい ひよこのびつび」ふうせん ふわふわ」などの楽しいお話に子どもたちは夢中。お母さんと楽しく過ごしました。



人権尊重の優しい人づくり・まちづくり

同和問題の完全解決をめざす同和教育を推進するためには、同和問題に対する正しい知識と認識を図り、実践活動を積極的に推進することが必要です。

このため、阿蘇郡同和教育の充実、推進を図ることを目的として、八月三日、白水村で各専門部会、各ブロックが一同に介して研究大会を実施しました。

主会場の白水中学校体育館での開会式と講演の後、就学前同和教育、学校同和教育、社会同和教育、部落解放部会の四部会、七会場に分かれ、各部会のテーマにより、事例発表や質疑・討議などがあり、差別の根絶をめざした真剣な取り組みが行われました。



第12回

阿蘇郡同和教育研究大会

就学前同和教育部会

子どもたちをとりまく差別の現実をふまえて
就学前教育を前進させるために、どう取り組んでいくか

学校同和教育部会

一人ひとりの子どもを、どうとらえ
どのように高めようとしているか

社会同和教育部会

家庭、地域での同和問題解決についての取り組みは
どのように進めたらよいか

部落解放部会

部落差別解消のため、地域社会の中でどう取り組んでいるか

「町づくり」と同和問題」

小国町長 宮崎暢俊氏



講演要旨

「町づくり」と「人づくり」は一体のもので、町を良くしようとする心は、その人の向上心のあらわれであり、これを大切にする心を持つことから、真のまちの発展が叶えられることになるのです。

私たちは町を発展させようとするこういった芽吹きを大切にしなければなりません。そのためにはこの芽吹きを見出す力とその芽を伸ばしていく力をつけなければなりません。

これはすなわち、互いに認め合う思いやりの心を身につけることが重要なことで、そういった努力の中から、人の心の痛みを知る思いやりのある優しさが培われてくるのです。こういった努力を続けて同和問題を是れとしましたすべての差別を根絶させましょう。

部落差別について、心理的差別と実態的差別があると いわれますが、どんなことですか？

昭和四十一年の同和对策審議会答申は、その中で部落差別の形態を大別すれば、心理的差別と実態的差別とに分けることができると述べています。

「心理的差別」とは、人びとの観念や意識の中に潜在する差別のことです。

それは、言葉や文字、身振りなどで封建的身分の賤称をあらわして侮蔑したり、偏見によって交際を拒み、婚約を破棄するなどの行動にあらわれます。

「実態的差別」とは、同和地区の人びとの生活実態にあらわれている差別であり、具体的には劣悪な生活環境、不安定な職業構成、高い生活保護率、低い教育水準などの諸現象としてあらわれています。

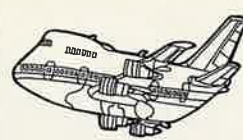
こういう劣悪な生活実態(実態的差別)があると、それはまわりの人びとの意識に反映して、社会意識としての差別観念(心理的差別)が生じてきます。

このように心理的差別と実態的差別とは、相互に因果関係を保ち、心理的差別が原因となつて実態的差別をつくり、また反面では実態的差別が原因となつて、心理的差別を助長するというように相互に作用しあっています。

そして、この相互関係が、差別を再生産する悪循環をくりかえす原因となつていきます。

この相互関係を断ち切り、心理的差別と実態的差別を解消することが同和問題の解決につながるようになります。

高森町同和教育推進協議会



大韓民国と モンタナへの 研修生が無事帰国

研修の経験を生かし みんな頑張れ！

先月号でお知らせしたモンタナ州カリスベル市へのホームステイ研修参加者と大韓民国への研修参加者が全員無事帰国しました。

モンタナでの研修はホームステイ先だけでなくカリスベルの皆さんから歓迎されてみんな大感激。お別れ会は市長宅で行われ、ダグラス市長は「来年、我が家にもぜひ受け入れたい。高森のみなさんによろしく」と語っていただいたとのことでした。

一方、大韓民国への研修については、民泊を増やしてより多くの交流が行えるようにしたとのことですが、(大韓民国に限らず)やはり言葉の壁の問題はあったようです。しかし、子どもたち同士は言葉よりも心と心、目と目で交流を進めたようで、民泊でお世話になったご家庭との別れでは、感激で心溢れるものがあったとのことでした。それぞれの研修の詳しい内容はあらためてお知らせします。



り、地図で住んでいる所を確認したり趣味やクラブ活動を聞き合ったり、バレーボールやバスケットボールのスポーツ交流も行つて楽しい時を過ごしていました。

今年、ホームステイを受け入れられたのは次の方々。「最初は食事や言葉の面で心配でしたが受け入れて楽しかったです。」と話されていました。

■山下朋幸さん ■木下精之さん ■徳丸和也さん ■福永三男さん ■瀬井幸一さん ■安方含さん

この事業に限らず外国の人のホームステイを受け入れてみませんか？

ご希望と問い合わせは町教育委員会 社会教育係まで、お気軽にどうぞ。



モンタナ高校生との交流会

モンタナ高校生 高森ホームステイ

熊本県とモンタナ州との交流の中で、中・高校生の相互交流ホームステイ(阿蘇の翼・ロッキーマウンテン)があります。これはホームステイによる実際の体験から互いの文化や風習、生活を学び、相互理解と認めあい、助け合う優しい心を学ぼうというもので、本町の人權尊重の優しいまちづくりともその目的を同じくするものです。

今年も八月六日から十七日まで、モンタナの高校生六名が本町内の各家庭にホームステイして交流と親睦を図りました。

また十二日には高森高校で交流会が行われ、高森高校からは生徒会(佛崎重文会長他役員十二名)の皆さんが参加しました。

交流会は自己紹介から始まり、

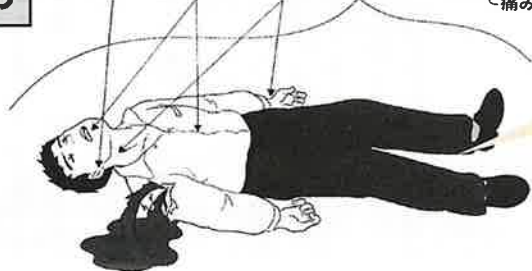
International Relationship 国際交流



消防なんでも南部分署

①意識は？ ②呼吸は？ ③脈は？ ④身体観察は？

顔色？ 出血？ 痛み？



救命・救急法は命を 助ける大切なもの

その場に居合わせた「あなた」
の応急手当と119番への通報が
尊い人命を救う

私たちは、いつどこで突然のケガや病気におそわれるか予測できません。

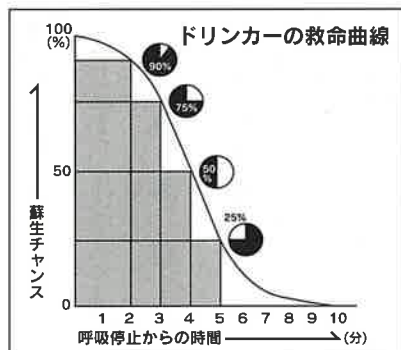
また、ケガや病気の中には、そのままにしておくと状態の悪化を招き、生命が危険に陥るものがあります。

たとえば何かが原因で意識障害を起こしている人は、そのままにしておくと舌が喉に落ち込んで呼吸ができなくなり、ついには心臓も止まって死にいたりします。また、喉に物がつまった場合も同じく大変危険です。

一方、それほど心配する状態でないと思われても、呼吸困難、頭痛、胸痛、腹痛の症状があるケガや病気では、それが重傷であったり、また対処の仕方によつては益々症状が悪化して生命が危険になるものがあります。

さて、このようなケガや病気の場面に遭遇したとき、一体私たちはどのような行動をとればよいのでしょうか。

下の表はドリンカーの救命曲線というものです。図は呼吸が停止した場合(呼吸停止数分後に心臓も停止します。)人工呼吸や心肺蘇生法を早く行えば行えば蘇生する割合が高くなり、反対に遅ければ遅いほど死する割合が高くなるということを示しています。



(11) 救急・救命法受講のおたずねは…

▶ 阿蘇広域行政消防本部 南部分署

Tel 2-9034



高森町 消防団

炎天下の郡操法大会

7月24日 白水村グラウンド

郡内12カ町村の精鋭が
操法技術を競う

郡代表として一の宮町(ポンプ車の部)と
西原村(小型ポンプの部)が県大会に出場

今年は二年に一度開催される全国消防操法大会の年。これに合わせて、県大会出場をかけた郡の大会が行われました。

本町からはポンプ車の部の第八分団(上色見)と小型ポンプの部の第九分団(色見)の選手の皆さんをはじめ班長以上の百五十名が大会に参加しました。

猛暑の中、いずれ劣らぬ精鋭の操法技術が競われ、本町代表の皆さんは惜しくも入賞を逃したものの、素晴らしい技術を披露しました。仕事など多忙の中、練習に励まれた両分団の皆さん、本当にご苦労様でした。



台風十二号被害報告

孟蘭盆の八月十三日から十四日にかけて、台風十二号が本町を襲いました。

この二日間の雨量は百三十mmでしたが、雨よりも風による爪痕を各所に残しました。

被害の主なものでは大字菅山の町道取首・水湛線の一部が崩壊した他、野尻地区では民家の瓦が強風で飛ばされたり、同地区の停電事故や町内全域にわたってビニールハウス倒壊やトウモロコシなど農作物にも被害

が及びました。

大きな被害を出した平成三年九月の台風十九号の様に、まだまだ油断できません。

これからの天気予報に充分注意し、できる限りの対応をして被害額を最小限に抑えましょう。

被害額報告(概算)
(八月二十八日現在)

- ▼公共土木関係 千九百六十七万円
- ▼農林業関係 二千九百二十二万円



食生活改善レポート

親子で料理づくり

お家でも お手伝いします！

料理 おもしろいね

七月二十五日、「親子料理教室」を行いました。

これは子どもたちの夏休みにあわせ、料理を通して親子のふれあいや子どもたちの心を育むことを目的としたものです。

この日は村山地区の皆さんが「とりのからあげ」「かきたまスープ」「グレープフルーツ」かんづくに挑戦。子どもたちも鶏肉をかき混ぜたり、だし汁をつくったりと一生懸命に頑張っていました。

「料理大好きです。」「難しいけどおもしろいです。」「などの感想が聞かれ、お昼にはみんなで楽しく食事をしました。お家でもお母さんたちを手伝ってあげましょうね。」



料理を通して子どもに伝える大切なこと

子どもにとって毎日の食事は、身体の成長はもちろん、心の育成にもとても大切です。子どもは料理することに対して、大変興味を持つ時期があります。この時期には調理にどんな参加させて作る楽しさや大変さ、人に食べさせる喜びを教えて、食品や味に対する知恵も伝えたいものです。味覚は子どもの頃に培われ、様々な食べ物の味を舌と身体を通して理解されます。また、匂いをかいだり、色の変化を見たり感覚を確かめたりして五感を鍛えます。

この料理教室を通して、また各ご家庭でもこのような大切なことを子どもさんたちに伝えていただきたいものです。



家庭や職場から出すごみはルールを守って、最後まできちんと責任を持ちましょう。ごみを少なくする工夫とともに、ポイ捨てをやめましょう。マナーある心でみんなが明るい社会を築き上げたものです。ごみ出しの日時や方法については、これまでお知らせしていますが、不明な場合は保健衛生係までおたずねください。



高森町役場・保健衛生係 2-1111 内線 127番

食中毒に注意！

県内にも13人の感染者

0-157 力衰えず全国に広がる



今年五月二十八日、岡山県の町村より保健所への食中毒患者の届け出があったことから端を発した病原性大腸菌O(オー)・157の感染者は、思わぬ広がりをみせながら全国各地でも新たな感染経路による感染と思われる患者が見つかっています。そして他県のことではなく八月三十一日現在、県内でも十三名の感染者が確認され、とうとう大変心配な状況になってきました。先月号でお知らせしたこのO・157の原因と感染経路の究明について、厚生省では必死の努力が続けられています。家庭でも予防と感染防止に引き続きご注意ください。

O・157の意味は？

大腸菌は「O抗原」と呼ばれる菌の成分により、更に細かく分類されており、「O・157」とはこの「O抗原」の百五十七番目という意味です。現在百七十三種に分類されています。

赤痢菌と似ているの？

O・157は赤痢菌がつくる志賀毒素とよく似たペロ毒素を作ります。この毒素は赤痢菌と全く同じ遺伝子もしくは、よく

似ている遺伝子(ファージ遺伝子)で作られることがあるため赤痢菌のファージ遺伝子が、大腸菌にうつったとも言われることから赤痢菌とよく似ているといえます。

O・157はいつ見つかったの？

昭和五十七年(一九八二年)アメリカのオレゴン州とミシガン州でハンバーガーによる集団食中毒事件があり、その際見つかった後、世界各地で見つかっています。

日本ではいつ見つかったの？

平成二年(一九九〇年)に埼玉県浦和市の幼稚園で、井戸水が原因となって死者一名を含む二六八名の感染者が出ました。その後、平成七年度までに全国で十件の事例が報告されて死者三名を出していました。

今年はどうしてこんなに多いの？

残念ながらこの原因と感染経路がまだ分かっていません。厚生省では都道府県などと協力して原因究明に全力をあげています。この間、各ご家庭では次の点に気をつけてください。

O・157 予防と撲滅対策

予防対策

- ①食品の保存、運搬、調理は衛生的に行なう。
- ②手や調理器具を十分に洗浄、消毒する。
- ③食品や水は七十五度以上で一分以上加熱する。
- ④井戸水や受水槽では点検と残留塩素測定(0.1PPM以上)を行なう。

感染防止対策

- ①感染したと疑われる場合は、すぐに医療機関に行く。
- ②患者の糞便やオムツを処理する場合は、ゴム手袋を使用する。
- ③患者の衣服などは煮沸、薬剤消毒し、家族のものとは一緒にしない。
- ④患者との一緒の入浴はしない。

O・157に関するお尋ねお気軽にどうぞ

0120-855-0157
平日・休日とも
午前八時半から午後五時まで
熊本県腸管出血性大腸菌感染症対策本部(県保健予防課)

新しい県庁舎に 献血ルームができます

愛称募集！

平成九年秋に竣工予定の熊本県庁新庁舎に献血ルームが開設されます。

この献血ルームの愛称を募集しますので奮って応募下さい。

- 応募資格 県内在住者
- 課題 献血を身近に感じさせ、県民に愛される名称であること。
- 賞 最優秀賞一点 賞金または賞品五万円相当額
- その他、優秀賞二点など。
- 発表 入賞者に直接連絡
- 応募期間 十月三十一日まで
- 応募方法 献血会場の応募用紙または官製はがきに3つまでの愛称を記入し、郵便番号、住所、氏名、年齢、職業、性別、電話番号を記入して送ってください。

送付先(問い合わせ先)

〒862 熊本市水前寺六丁目十八番一 熊本県衛生部業務課県庁献血ルーム愛称募集係
096-383-1111
内線3873番までどうぞ。



第17回 老人クラブ連合会ゲートボール大会 矢中会3が優勝

7月24日(水)、中央公民館ゲートボール場において、高森町老人クラブ連合会主催のゲートボール大会を開催しました。大会には各老人クラブから20チームが参加して熱戦が繰り広げられ、「矢中会3」チームが優勝しました。

●大会結果
☒優勝 矢中会3
☐準優勝 草部福寿会 ☐三位 寿会A



梅香苑でワークキャンプ

高森東中生 宿泊して介護を実体験

八月八日と九日の二泊二日間、高森東中の生徒たち二十名が社会福祉法人「梅香苑」で「ワークキャンプ」を行いました。
 これは近隣住民とのふれあいが益々薄れ、社会連帯意識が低下している現代において、「明日の社会福祉」を担う今の子どもたちの社会福祉への理解と関心を高め、社会福祉施設との交流・体験・学習をすすめるよう、本会が今年から始めた事業で、今後も各学校を対象に実施していく予定です。
 このキャンプで東中の皆さんは介護の大変さと大切さを体験し、おじいちゃん、おばあちゃんたちの気持ちを理解することの重要性を認識したようでした。東中の皆さん お疲れでした。



地域福祉サービス車を導入

熊本県共同募金会から
配分を受ける



7月29日、本会に地域福祉サービス車を導入しました。これは県共同募金会から80万円の配分を受けて購入したもので給食サービス事業や各種輸送業務に活用していきます。

高森寮福祉まつり

開催のお知らせ

10月6日(日)

午前10時から午後3時

高森寮グラウンド(大字色見)



バザーや実演コーナーなど多彩な企画で、盛大に開催します。皆さんお誘い合わせの上、多数ご来場ください。

健康・福祉まつり開催のお知らせ

9月29日(日) 午前10時から
高森中学校体育館

自分の健康は
自分で保とう

みんなで支えよう
高齢社会



健康な身体づくりはとっても大切なこと。仕事はもちろん、人が生活する上で何事にも代え難いものです。

町では保健衛生面と健康保険面で、まちの皆さんの健康づくりを推進しています。

九月二十九日、高森中学校体育館で「健康・福祉まつり(高森町健康づくり推進大会)」を開催いたします。

これは皆さんの健康意識を高めてもらおうと毎年開いてきたもので、健康に関する講演や展示、各種表彰など、たくさんの方の企画で開催致しますので、お誘い合わせの上たくさんご来場ください。

★講演会

午後二時から(入場無料)
講演の講師・内容については、回覧でお知らせします。

★表彰「健康な歯」「国民健康保険健康家庭」など
 ★無料健康相談 ★骨密度測定
 ★血圧測定 ★年金相談 ★在宅介護・看護の推進 ★展示(献血推進・むし歯予防・健康づくりなど) ★特産品、工芸品コンクール(展示・表彰)など。
 (募集については回覧でお知らせします。)

東小・中校生の 安全通学のために

スクールバスと停留所を整備



耐用年数を越え、新しく導入した中型バスの前で。
左から委託の下田幸男、職員の前井若生、栗橋恵章、甲斐武敏



昭和六十二年四月、高森東中の開校とともに本町ではスクールバスを導入しました。以後、平成七年四月、東小の開校により大型バスを二台導入して中型二台と共に四つの登下校コースを職員三名と委託一名の四名体制により二校の児童、生徒の通学に欠かせない安全運行と車両の保守点検や管理を行ってきました。

この運行計画は、クラブ活動や月ごとに変わる両校のスケジュールと一ヶ月交代で各コースを逆走行などを勘案して無理、無駄がないように運行担当の東中、加藤先生と協議して設定していますが、一日一往復という訳ではなく複雑多岐にわたっています。
また、子どもたちのバス乗降の利便を考えて、十一ヶ所の停留所も整備してきました。

くさかべ

山村留学交流会



心のふれあいを求めて



波野の岩下さんの指導で草笛も体験



七月二十五日から二十八日までの三泊四日間、山村留学に積極的に取り組んでいる「奥阿蘇くさかべ山村留学(田中生涯委員長)実行委員会」の夏休み短期体験留学が行われました。これは自然豊かな高森の地で、子どもたち同士、都市と農村の交流を通して子どもたちの健全な精神を育むと共に、まちの活性化にも寄与しようというものです。この短期体験留学には遠くは福岡、牛深などや熊本市を中心に三十七名の子どもたちが参加し、草部地区の「里親」宅に二泊と野尻川(大谷川上流)付近でキャンプも行いました。民泊では、じゃがいも掘りや新鮮な野菜収穫などの「農家体験」をして、子どもたちは実体験の中から農業に対しての思いを新たに、また日頃都会の空間で過ごしている子どもたちは、自然の中で生き生きと過ごし、草部の子どもたちとの心のふれあいで、夏休みの良い思い出をつくったようでした。解散式ではみんなで別れを惜しみ、この交流が永く続き、そして広まることを心に誓っていたようです。この「ひと夏の体験」を生かしていつて欲しいものです。

高森で四半的の県大会
無心の境地：高レベルの戦い



大会結果

- 団体の部
 - ▽優勝 日向一
 - ▽準優勝 高千穂押方
 - ▽三位 嘉島町A
- 個人の部
 - ▽津山智博(嘉島)
 - ▽準優勝 林哲夫(高森)
 - ▽三位 山本正義(延岡)



地域や学校・園などの楽しい話題や催しの情報・報告をお寄せください。(広報たかもり)

第二回 野尻川ヤマメ釣り大会



ヤマメのつかみ取りもあり、子どもたちは大はしゃぎ

八月四日の日曜日、今年も野尻川(大谷川上流)でヤマメ釣り大会が行われました。これは野尻川ヤマメの里育成会がヤマメの稚魚放流などにより、野尻川を核として地域の活性化を図ろうというもので、川の汚染防止と美化整備にも心がけ、魚が棲みやすい環境作りに努力されています。今年も県内外から二百名の参加があり、参加者の皆さんは「自然に学び、親しむ良い機会になりました。」と話されていました。

釣り大会結果

- 大物賞 瀬井美智夫(31cm)
- 大漁賞一位 後藤次利(二千七百二十九)



文芸

POETRY PAGE

肥後狂句

文月

(阿蘇御神火会)

開けて見て 銭より徳の足らだった
開けて見て これが我が子の部屋だらうか
まだ続く 狸寝入りにや耳ざわり
氷水 キヤデーさんにもやつて呉れ
開けて見て 俺にもあつた誕生日
氷水 さぞ完封の旨からう
氷水 脳味噌に釘打つ如たる
夏ぞ 犬ノ掻きなつと覚えんか
夏ぞ 根子も入道雲着とる
夏ぞ 日傘の似合う媽の居る

俳句

(河原すずきの句会)

大樹陰生気息つく土用東風
夕立の雨蛇行して川注ぐ
震災の假設小屋に青葉陰
車窓より見下す崖の合歡の花
不意の客夏衣の丈を合せつつ
人の世の無情の風や盆の月
涼風や山の彼方に吹き抜ける
夏草をつけて廻りし車輪かな
夏虫と遊ぶ深夜の一人酒

「燃える若きやもん」「お母さんといっしょ」「動物は友だち」

登場者募集中

やさしい まちづくり

私たちは、誰でも住み慣れた家庭や地域で安心して、生き生きと暮らしたいと考えています。

しかしながら、お年寄りや障害のある方々のまわりには、様々な不便なことや不都合なことがたくさんあります。

たとえば、私たちが利用する建物や歩道の段差もその一つなのです。この段差は車いすやベビーカーを利用されている方々にとっては、建物の出入りや通行の際に大きな支障になります。

熊本県では、昨年「やさしいまちづくり条例」を制定し、お年寄りや障害のある方々に対する偏見や誤解、雇用の機会が少ないこと、建築物・道路の段差など、様々な不便なことや不都合なことを取り除くことにより、誰もが共に生き生きと暮らせる社会の実現を目指して、全ての市町村と共に「やさしいまちづくり」に取り組んでいます。

「やさしい まちづくり」は県民のみなさん一人ひとりが自分自身の問題として取り組んでいただくことからはじまります。まちには、車いすでも入れるトイレが必要で、歩道上の黄色いブロック(視覚障害者用誘導ブロック)の上に自転車や荷物を置いたりすると、目の不自由な方などは歩けず、つまづいたりして大変危険です。

そして、もっと大切なことは、お年寄りや障害のある方が困っているときに、たとえば坂道で車いすを押してあげたり、重い荷物を持ってお手伝いをするなど、ちょっとした心づかいが大切だということです。

みなさんの「やさしい まちづくり」に対するご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

熊本県福祉生活部 地域福祉推進室
096・383・1111 内線3666番 3675番

消費者大学 受講者募集

県消費生活センターでは、消費生活に関する専門知識を高め、地域における消費者のリーダーとしての人材を育成するため、消費者大学を開講します。皆様の積極的な応募をお待ちします。

■対象者 一般消費者、消費者団体、婦人会、老人会、消費者行政担当者など

■日時 九月二十七日(金) 午前10時から午後4時15分

■場所 熊本市国際交流会館(熊本会場)

■定員 二百名(先着順)

■参加料 無料

■講演内容

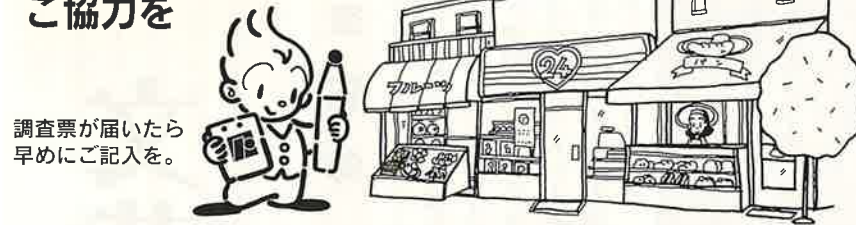
一 現代社会と消費者の自立
二 地球環境問題の現状と対策
三 健康食品の主役たち

■応募方法 往復はがきに住所氏名、電話番号と「9月27日の熊本会場希望」と書いて早めに申し込んでください。出席の可否は「返信」で通知します。

■送付先 (問い合わせ)

〒860 熊本市水道町十四の十五 熊本県消費生活センター消費者大学係
Tel 096・354・4835

9月下旬から各事業所に調査票をお届けします
事業所・企業統計調査にご協力を



10月1日、全国一斉に事業所・企業統計調査が行われます。事業所・企業統計調査は、国や都道府県、市区町村などのこれからの行政を考えていく上で、大切な基礎資料となるものです。

会社も、お店も、学校も、病院も。
事業所・企業統計調査
総務庁統計局 熊本県 高森町

広報たかもり昔話

昭和三十四年八月一日生まれ、今月で四百四十五号目の「広報たかもり」。三十七歳と二ヶ月もの間のたくさんの思い出の中から、今にも通じる、これからの「人づくり・まちづくり」に役立つ話や皆さんの優しい心にうったえる、そんな昔話のはじまりはじまり！

昭和四十六年八月号

「高森音頭」ができました
町は合併十五周年と商工会発足十周年を記念して「高森音頭」のレコードをつくりました。

これは、観光的大いに高森を売り出そうというもので、阿蘇邦子さんの歌声でレコードの吹き込みも終わり、八月二日から発売されることになりました。

高森音頭

作詞 高森町
作曲 岩代浩一

(二) 阿蘇の大橋 渡れば南郷
ここは高森 山の町
夜霧、朝霧なさけの霧に
濡れて花咲く 恋もある
さつさ来なつせ寄りなつせ

広報たかもり 第一四三号から
今年も風鎮祭や各地区で賑やかに踊られました。

国税広報

お気軽に税務相談

税務相談は、「もつと詳しく税について知りたい」「私の場合はどうなるの」など、税金に関するいろいろな質問に答えする窓口です。

おわかりにならないときは、お気軽に税務相談室をご利用ください。

相談は面談によるほか、電話による相談もでき、もちろん無料です。

熊本国税局 税務相談室
096・354・8642 税務相談室 熊本東分室
096・368・4827

年金相談

国民年金、厚生年金、社会保険についての相談を受けます。

■とき 九月二十五日(水) 午前10時から午後3時まで
■ところ 林業総合センター二階の会議室

母子家庭相談

県の専門の相談員が生活や悩みごとなど、色々な相談をお受けします。

■お気軽にお越しください。
■とき 九月二十七日(金) 午前9時から午後2時まで
■ところ 役場二階の第一委員会室

法律相談(無料)

本町出身の弁護士、津留清さんによる無料法律相談が行われます。

■とき 九月十四日(土) 午後一時から三時まで
■ところ 高森町中央公民館

入札結果(五百万円以上)

■色見環状線道路改良工事
□工期 七月二十五日から十二月五日まで □金額 千五百七十五万九千円 □請負者(株) 草村道路建設工業

■下森・冬野線道路改良工事
□工期 八月二十日から十二月二十五日まで □金額 千二百七十六万七千七百円 □請負者(株) 藤本組

診療は午前9時から午後5時まで

休日 在宅医

9月15日	中村医院	Tel ⑦ 2333
9月16日	立野病院	Tel ⑧ 0111
9月22日	寺崎医院	Tel ⑧ 0111
9月23日	南郷谷整形外科	Tel ② 0378
9月29日	渡辺内科	Tel ② 3351
10月6日	後藤医院	Tel ⑦ 1777
10月10日	立野病院	Tel ⑦ 0019
10月13日	みなみ阿蘇クリニック	Tel ⑧ 0111

*都合により変更になる場合があります。テレホンサービスでお確かめください。② 2222

編集後記

理解は知ることから
交流の重要性

今月号は交流記事が盛りだくさん。事業、行事の違いによって違っている見えますが、基本は同じで交流から相互理解と信頼による発展性をめざしたもののようです。

これは、子ども会や婦人会活動、国際交流の記事だけでなく、「伝統伝承・芸能公開」や「風鎮祭」「夏祭り」など、各種のイベントにおいても言えることで、表に見える部分だけでなく、どの行事でも毎年、出演者同士の交流、出演者と観客の交流なども図られていることが大きく評価されるべきです。

見えないところもある
それが思いやりに

他の町村から「高森は行事が色々あっていいね」と言われます。広報担当になって二年半。色々な取材を通して、確かにソフト面からハード面。文化面から体育面まで何でも揃っていると思われ、誇りにも思っています。

しかし、これらの行事そのものは短時間ですが、そのための企画や準備、後片づけにはその何倍もの手間と暇がかかったらうと、主催者や実行委員の方々の苦労にはいつも頭が下がる思いです。

こういった点を紙面に紹介する余裕がありませんが、皆さんもいろいろな行事に行かれたら、そんなお気持ちで会場を見回してみてください。

おめでとう おくやみ
1996. 7月受付分 敬称略

赤ちゃんたんじょう

松岡奈美(旭通)	7.5生	父 浩美 母 治江
甲斐龍矢(戸の)	7.6生	父 忠文 母 慎真
田上雅奈(旭通)	7.17生	父 一美 母 奈美

すえながくお幸せに

安片英人(太江田)	7.3	色見小倉原
赤木哲政(竹中)	7.10	下切大畑
野尻次典(矢野)	7.17	津留宮園

おくやみもうしあげます

住所	御遺族続柄	死亡者	年齢
津留色見下森部	佐藤千鶴代	武興永久代	74
	本田盛輝	佐藤純元	87
	阿南ケサ子	阿南ケサ子	90
			101
			72

人口の動き
(7月末日現在)

世帯数	2,580 (-1)
男	3,893 (-9)
女	4,188 (-2)
総数	8,081 (-11)

善意の灯
ありがとうございました(敬称略)

■町社会福祉協議会へ
<香典返し> 首藤盛輝 阿南ケサ子 山村一郎

<一般寄付>

■広報送料寄付
谷川幸市(神奈川県厚木市)